

# フロアカーリング

## 1 活動の概要

平成5年“木材の町新得（しんとく）”の特徴を生かしながら季節や天候に左右されない室内競技として誕生しました。

ターゲットを的にフロッカーを送球し、得点を競うもので、ルールも簡単。子どもからお年寄りまで、男女を問わずに誰でも手軽に楽しめるニュースポーツです。

## 2 ねらいとして考えられるもの

各チーム内での協力性・協調性を高める。

## 3 活動時期

通年

## 4 活動場所

プレイホール

## 5 活動人数

1チーム2～6人 最大50人程度

## 6 所要時間

1～2時間（1試合4～6セット 1セット約15～20分）

## 7 指導依頼について

- (1) 基本的には、引率または団体指導者の方に直接指導していただきます。事前打ち合わせに来所した際に競技ルールについて、ネイパル職員が引率または指導者の方に指導します。
- (2) どうしても団体で指導できない場合は、ネイパル職員が指導しますが、他の利用団体の活動状況やネイパル職員の勤務の関係上、全ての指導依頼に応えられない場合があります。
- (3) 指導依頼をした場合でも、全ておまかせの状態にならないよう、参加者の掌握や安全管理について指導補助をお願いします。

## 8 団体に準備するもの

当日のチーム分け（トーナメント表、景品など必要に応じて）

## 9 ネイパルで貸し出しできるもの

フロアカーリングセット一式（4セットあります）  
スコア表 ホワイトボード メジャー 筆記用具

## 10 活動にかかわって

### (1) 競技内容

- ①コートに集合して挨拶をし、握手する。
- ②両チームの代表者でジャンケンをし、先攻後攻を決める。  
※先攻は赤色、後攻は黄色を使用する。  
※2セット目以降はセットごとに先攻と後攻を交代して進める。
- ③先攻チームがターゲット（緑色）を送球する。  
※ターゲットは赤いラインより奥に停止すること。赤いラインより手前に停止したり、ラインから出たりした場合は再度、送球し直す。（2回まで送球し、ライン内に入らなかった場合は、相手チームが送球する。）
- ④先攻チームが赤色のフロッカーを送球する。
- ⑤後攻チームが黄色のフロッカーを送球する。
- ⑥お互い一球ずつ送球が終わったら、その後は先攻後攻に関係なく、ターゲットからフロッカーの遠いチームが送球する。
- ⑦ターゲットに対し、フロッカーの遠いチームの手持ちフロッカーがなくなったら、ターゲットに近いチームの手持ちフロッカーを全て送球し、セット終了。  
※双方のフロッカーがターゲットに対して同距離の場合はあとに近づけたチームが更に送球する。  
※各セットの競技中、審判以外はコート内に立ち入ることは不可。

### (2) 得点計算について

- ①得点は、ターゲットを中心に、最も近いフロッカーのチームに与える。  
※ターゲットに近い相手チームのフロッカーより内側にある自チームすべてのフロッカー個数が、そのまま得点となる。
- ②両チームとも最も近いフロッカーが同距離の場合は、両チームに1点ずつ与える。

### (3) 得点計算の例外

- ①ゲーム中、ターゲットをコートの外にはじき飛ばした場合は、そのセットは終了となる。
- ②相手チームに2点または相手チームの未送球フロッカーの数のいずれが多い方を得点として与える。